

日本のサポーターティング・インダストリーの競争力強化に向けた研究

国際商経学部 藤川 健



キーワード

中小企業、技術経営、基盤産業、金型、競争力

研究概要

「日本のサポーターティング・インダストリーの競争力強化に向けた研究」は、競争力の焦点のシフトに重点を置いた新たな金型製造企業における競争力の分析枠組を用い、グローバルな視点から型種別に金型製造企業の技術特性と経営行動を検討するものである。さらに、本研究では、そこから得た知見を援用し、喪失してしまった日本の金型産業の競争力を取り戻す糸口を掴むことを目指す。本研究で採用する分析枠組は、研究代表者が日本の大手金型製造企業に対する聞き取り調査に基づいて2014年に導出したものであり、既存研究が持ち得ない競争環境と対応能力の視座を含むオリジナルのものである。そのような新たな金型製造企業における競争力の分析枠組で型種の異なる金型を手掛ける国内外の企業を統一的に捕捉することは、学術的独自性と創造性を創出し、国内のサポーターティング・インダストリーや完成品産業の国際競争力の高度化に資するものと考えている。

アピールポイント

本研究では、帝国データバンクとの一連の共同研究の成果を活用し、金型製造企業が、如何なる位置付けにあり、誰とどのような競争を行っているのかという競争環境を整理するための独自の類型化を行っている。さらに、研究代表者は、そのような類型化の視点を加味した新たな金型製造企業における競争力の分析枠組も提示している。

応用分野

本研究は、今後の日本の基盤産業がどのように生き残ればよいのかを経営学的な視点から考察するだけでなく、各企業の技術力を具体的な数値として表現することにより、どのような技術を高めていけばよいのかという工学的な視点からの示唆も得ることが可能であると考えている。

金型製造企業の競争力における焦点の変化

